



# マネ協

題字 杉本 隆子

◆ 発行 ◆

Vol.16

日本芸能マネージメント事業者協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿

1-29-5 グランドメゾン新宿東210

TEL. 03 (3225) 5984

FAX. 03 (3225) 5949

E-mail: manekyo@nifty.com

http://www.manekyo.com

■発行日 平成15年10月15日

■発行人 梅田 濠二郎

■編集人 松田 咲實

■印刷 刷 谷 本 企 画

## M A N A G E M E N T R E P O R T

### 「実演家の為の著作権・契約研修」 研究会スタート

副理事長 山崎 讓

九月十八日、研究主体となる、芸団協、俳優関連団体連絡協議会、日本芸能マネージメント事業者協会の三団体が集合し、「実演家の為の著作権・契約研修」研究会が開催された。目的はテレビ・映画・演劇等に出演する俳優及び、そのマネージメントを行う者を対象に、著作権契約に関する基礎的な知識を修得する場を提供するため、業界の近年の傾向・諸課題を研究し、実状にあった研修を実施する事。この様な研究・研修を重ねることで、実演家やマネージャーの実務能力の一層の向上を図り、公正で円滑な取り引き慣行の確立に寄与することを目指して行くのである。初日なので各団体からの各論であった。唯、今後、会を進めて行く上で現状を聞いておく事は意義があった。

九月十八日、研究主体となる、芸団協、俳優関連団体連絡協議会、日本芸能マネージメント事業者協会の三団体が集合し、「実演家の為の著作権・契約研修」研究会が開催された。目的はテレビ・映画・演劇等に出演する俳優及び、そのマネージメントを行う者を対象に、著作権契約に関する基礎的な知識を修得する場を提供するため、業界の近年の傾向・諸課題を研究し、実状にあった研修を実施する事。この様な研究・研修を重ねることで、実演家やマネージャーの実務能力の一層の向上を図り、公正で円滑な取り引き慣行の確立に寄与することを目指して行くのである。初日なので各団体からの各論であった。唯、今後、会を進めて行く上で現状を聞いておく事は意義があった。

合つて、意見が出された。【テレビ】特にテレビ映画と呼ばれる作品の二次利用に対して、全然報酬が得られない事である。著作権法の問題ではあるが、テレビ放送の為の番組が、何時の間にか、テレビ映画と云われて、局制作番組以外は殆ど、報酬を得られない現状。特に映画会社関連のテレビ作品は全く報酬が得られない。テレビ映画もテレビ放送スタート当初は、ギャラに乗せし、二次使用に関して報酬を得られるように記憶している。テレビ局から支払われる映画制作会社への低い制作費の事は承知しているが、現状では、上乘せは、全く忘れられている。この状態は、最近ATP関連会社において、何時の間にか追従されてしまつて。この現状を変えるべく、文化庁等に訴えていかなければいけない。契約については、一定のギャラ以上の実演家とは、テレビの即時性と云う事もあるが、ドラマ番組

制作終了後にギャラの話をしたり、契約書をかわしている。【映画】映画は興行であるので、作品の出来具合に関係なく、客入りの成功失敗があるので難しい部分もあるが、テレビ放送番組になった作品は、高額の放送収入が映画会社に支払われるので有るから、実演家に%の割合の部分はあるけれども、二次使用に対する報酬分配がされて当然だと思ふ。契約に関しては、メジャー系は「約束まで有る。メジャー以外は、最近全員ではないが契約書を交わす傾向になつてきた。【演劇】旧来の大劇場では、口約束が殆どであり、バルコ、コクーン、新国立等、最近作られた劇場では、実演家全員と契約書を交わしている。大手映画会社の映画、演劇に殆ど口約束であり、新規参入してきた、映画会社、劇場関連会社は、契約書を交わす傾向に有る。この事は、異業種参入により、旧来の映画会社との相違点である事が見出せる。メジャー映画会社により、テレビ業界演劇業界も関連されている。最近、映画会社内においても著作権隣接権を認めるべきだという声も出ており、早急に日本映画制作者連盟と話し合うべきである。同時に我々実演家の分配時における受け皿の存在もアピールするべきである。とにかく、著作権の基礎的な考え方、契約の本を、現場感覚に即して修得し得るよう、仕事の流れに応じて整理し実演の二次利用拡大の可能性に対する備えを実演家、マネージャーが自ら考慮、検討できるように、現状把握と対応の可能性について、整理する点を留意し、研究会を有意義なものに進めていきたい。それにしてもやっと始まつた感じがする。日進月歩のスピードで新しいハードができ、BS、CS、CATV、プロードバンド等、新しいメディアが増え続ける現代。用語を覚え、やっと少し解釈したと思ふと、又、新しい言葉が飛び出してくる。益々、マネージャーは番頭的、付き人的な仕事だけでは済まなくなつてきた時代である。若いマネージャー諸氏にも、どんどん意見をだしてもらい勉強し、各分野の方々と協議し、正当な権利と主張し、良質な作品を作る為に、より良い仕事現場にして、環境を整備する事に、我々日本芸能マネージメント事業者協会は、率先して行動していきたいと思ひます。

# 第13回 定時総会 & 懇親会開催

4月22日(火)午後4時より、NHK青山荘にて第13回・日本芸能マネージメント事業者協会定時総会が開催されました。

総会は、出席38社・委任51社で無事成立。梅田理事長の挨拶の後、各委員会報告・決算報告・予算案の承認と滞りなく執り行われました。

その後、来賓の方々も迎え42社78名の出席で懇親会も開催され、和やかな雰囲気の中に終了致しました。



美味しい料理で楽しい一時



理事会の報告に聞き入る出席者の方々

## マネ協のホームページが開設されました!

<http://www.manekyo.com>

以前より、協会の広報活動の一環として必要性が指摘されていたホームページですが、総会でも触れられていた通り、今年5月に開設致しました。まだ、仮オープンの形ではありますが、徐々に充実を図っていく予定です。

尚、会員各社のHPへのリンク設定は、昨年11月に実施した「HPアンケート」の回答に基づいております。その為、回答を頂けなかったり、HP未開設であった会員社のHPへはリンクされておりません。また、HPアドレスの変更がある場合も同様です。

マネ協HPで確認して、リンクされていない場合は[HPアドレスをハッキリとお書きの上でFAX 3225-5949 にて]マネ協事務局へお知らせ下さい。

「芸能ネット」はインターネットを利用した  
芸能業界の総合名鑑。

芸能ネット  
**geinou-net**  
www.geinou-net.com

ビジネスモデル特許出願中

### 芸能ネットとは?

欲しい人材を誰でも自由に検索可能。当サイトが認定した業界内の方には、パスワード入力より詳しい情報を提供します。  
業界経験者・芸能関係事務所所属者のプロフィール掲載は無料(要審査・未経験者は有料)。プロフィール登録者に仕事の依頼があった場合は、依頼承諾の確認を取らせていただいた後、依頼主と登録者とで直接取引をしていただくので仲介手数料は不要です。

### 登録可能ジャンル

【実演家部門】俳優/タレント/声優/歌手/アナウンサー/キャスター  
ナレーター/DJ/パーソナリティー/インポーター/司会/モデル/ダンサー/演劇家/お笑いタレント/漫才師/ミュージシャン/声楽家/モデル/演芸家/舞踏家/パントマイマー/スタントマン ほか

※【スタッフ部門】の登録もあり。※上記以外のジャンルでも登録可能。

### お問合わせ

株式会社 日本ナレーション演技研究所 インターネット事業部  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-14-3/松田ビル1F TEL: 03-3372-5671

(登録例)

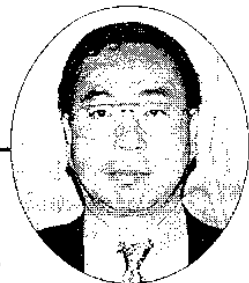


# PRE 代表幹事に 守屋理事が決定!

実演家の二次使用料の徴収分配団体である「PRE映像実演権利者合同機構」(略称:プレ)の代表幹事にマネ協の守屋理事が決定いたしました。又、副代表幹事に山崎副理事長、常任幹事に亀井理事、幹事に伊藤事務局員がそれぞれ選任されました。

組織は昨年より正式に稼働し実演家の目的外使用料の徴収において実績を挙げ始めており、実演家を擁する私たちマネ協も大いに期待している組織であります。この団体の主要役員にマネ協理事や事務局が推挙されたことは大変喜ばしいことであり、今後バックアップしていく必要もあります。今回、PREの代表幹事に決定した守屋理事に抱負等を語っていただきました。(編集部 松田)

PRE担当理事 守屋俊郎



『ご承知のようにPRE (プレ) はマネ協、劇団協、日俳連をはじめ俳優関連15団体が賛同団体として一昨年の四月に発足しましたが、未知の領分のことゆえ委任を取り付けるにあたって先達の権利処理団体との間に軋轢を生じましたことは、大変、残念なことでした。その結果、副代表であった私が急遽、代表代行となり、そしてこの九月一日付けで代表幹事に選任されるに至りました。正直申し上げてPREに関わるまでは、実演家の二次使用料等の権利処理についてはほとんど無知な私でしたが、いろいろ知識を得るに従って、現時点で発生する二次使用料は当然のことながら、この先デジタル化の大波が押し寄せ、確実に二次使用料が激増することを思うにつけ、PREの仕事の重大さを、また代表としての責任の重さを痛感しています』

## 「俳優の集い2003年夏」開催に協力!

去る8月4日(月)に「俳優の集い、2003年夏」と題する催しが協同組合日本俳優連合の主催で開催されました。

プログラム第2部の「俳優の言い分! マネージャーの言い分!」というパネルディスカッションにはマネ協にも協力要請があり、相互理解を深めるには良い機会だとの判断からパネラー登壇者に協力する事で合意し、理事やベテランマネージャーが出席して俳優と所属事務所のあり方などについて活発なディスカッションが行われました。観客として参集したベテラン俳優などからも建設的な意見が出され、目標どおり、相互理解を深めるといふ見地からは一歩前進といえる集いとなりました。パネラーの皆さん、大変ご苦労様でした。(レポート 編集部・松田咲実 写真・事務局伊藤)



熱心にディスカッションするパネラーの皆さん



# 第5回 マネ協研修旅行

## 青年部会のお知らせ

昨年、青年部会の立ち上げが企画されましたが、多忙な業界をそのままに反映してが具体的な企画の実現には至りませんでした。今回、第一回「外画・動画の未来を考えよう～青年部会ワークショップ～」を実施したいと思います。マネ協恒例の研修旅行会として開催されますので、連動しての企画と成ります。今回のワークショップは音声連事業部、企画広報部と連携し、録音監督の佐藤敏夫さん・本田保則さんを始め、外画のプロデューサーや音声連のスタッフと、外画・動画の未来を講演、ディスカッションなどの形式で実施の予定です。外画・動画のマネジメントを担当する、沢山の若手マネージャーの参加を待っております。テーマをあまり重く考えず、名刺交換会、顔合わせ・売り込み・企画提案、様々な目的を持って集い、一時我々の業界の過去・現在・未来を考えて見ましょう。「徳弧ならず必ず隣有り」参加を御待ちしております。

マネ協青年部会 担当理事 南 沢 道 義

### 第一回

## 「外画・動画の未来を考えよう ～青年部会ワークショップ～」

■実施日 03年11月9日(日)～10日(月)  
15時～/講演、ディスカッション等のワークショップ  
19時～/夕食、親睦会

■会場 箱根ホテル小涌園

■参加会費 18,000円

■参加団体 マネ協・音声連・日俳連、(予定)

#### ●担当マネージャー

内海賢太郎(賢プロ) 池田 宏(青ニプロ)

藤井 敬(81プロ) マネ協外画・動画部会有志



## マネ協・健康診断の報告

事務局/伊 藤

例年行なわれております健康診断が、今年も6月19・20日の二日間に亘って実施されました。今回は、会員15名・スタッフ会員16名・一般社員147名・事務局1名の合計179名の受診となり、無事終了しました。

身体が資本の職業でありながら、不摂生の方が多いようにも思われます。今後も皆様の健康管理に役立てて頂きたいです。

おめでとうございます



素晴らしい眺望と華やかな雰囲気  
二重橋前で楽しいパーティを。



皇居二重橋前

東京會館

☎(03)3215-2111

〒100-0005 千代田区丸の内3-2-1 ホームページhttp://www.kaikan.co.jp



# 現場マネージャーの独り言

(匿名氏)

9月に入って30度を越す日がすでに10日以上有ると言う。夜もクーラーを入れないと眠れないし、日中はハンカチ2、3枚でとっかえひっかえ汗を拭きながら歩いている。そんな中、自社の俳優の売込みにコツコツまわるのは、結構しんどい仕事である。今は大手の製作プロダクション、映画会社を定年で辞めて独立したプロデューサーの人達が作られた製作会社が沢山できている。定年は60才位だろう、まだまだ皆さん元気である。だからどんどん製作会社が増える。売込みに歩く方は大変である。どこの会社でいつ頃、どういうドラマの準備稿が上る、という情報が流れると、それとばかりマネージャー達が集まる。皆で本をまわし読みして候補を出してメインキャスト以外の役が決まってくる。自社の俳優が入ると正直ほっとする。こうしてマネージャーの戦いは日々続くのである。

通勤電車の行き帰りに小説を読む。面白い本に出会うと親しいプロデューサーにその話をする。それが稀にドラマになったりする事がある。こういう作業もマネージャーの楽しい仕事の一つだ。又オリジナルドラマの筋立てを考えたり、キャラクターを考えたりする事もある。先輩のマネージャーの中にはプロデューサーになった人もいる程だ。

マネージャーってどういう事をする仕事なのだろうか。会社に所属している俳優達と共に映画、演劇、テレビの世界に携わっていく。その中で自社の俳優の存在を知らしめていく。俳優というのはプロデューサー、監督と呼ばれている人達にその存在を知らなければ居ないのと同じだ。俺はあるいは私はここに生きているんだという証をどうやって作っていくか、それにどうやって加担するか。マネージャーはクリエイターとしての能力が問われる厳しい仕事でもある。

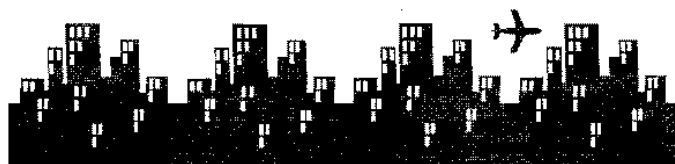
ある映画祭に出席した。そこには外国のプロデューサー、監督、俳優陣もたくさん出席していた。記者会見の時は一人一人の後ろに同時通訳の人達がスタンバっていて、一人の挨拶が始まると同時に自国語で通訳していた。パーティの時にそういう人達と話したくても残念乍ら会話が出来ない。言葉が喋れない。大変残念な思いをした。会話の学校にいつか勉強しない自分が悪いのだが、世の中こんなに物が溢れているし、機械が発達しているのに、何故自動翻訳機がないのだ、誰か作ってくれ!

キャストの売り込みに撮影スタジオのスタッフルームに挨拶に行った。「おはようございます。」この業界用挨拶は夜でも行われている。こんな話は書きたくないのだが、売れている俳優を持っている事務所のマネージャーしか相手にしないプロデューサーが稀にいる。こういうプロデューサーに頭を下げてキャストのお願いをしなければならぬのは屈辱である。だったら頼みに行かなきゃいいじゃないか、という声もあろう。しかしマネージャーとしては、自社の俳優の仕事を思う時そうもいかないのだ。

ドラマの打ち上げパーティに出席した。主演、メインキャストの俳優が皆出席している。場所は都内の某中華料理店。一瞬、主役の俳優のサインをもらおうとしている自分にびっくり。「こちら、お前は今どんな仕事をしているのじゃ。」天の声が聞こえてくる。この打ち上げで面白い事があった。プロデューサーの挨拶、主役の俳優の音頭で乾杯とセレモニーが段取り通りに進んで行く。この番組は視聴率も良く10年近くシリーズとして続いている。そんな中、テレビ局の偉いさんの挨拶が始まった。評判の良い作品なので、今日の挨拶の為にドラマを見ておかなければと思ったのだろう、自分の部屋へスタッフにビデオを届けさせ、早まわしで見たという。その話を得々と喋るものだから、会場にいた皆は一瞬あぜん、本人は全然気が付いていないという、しらけた状況でした。チャンチャン

新宿に東映パラスという映画館がある。その正面右側にガラス窓があり、中には何のポスターも張られていない。その理由は何か、鍵を紛失して開かないからである。「わらびのこう」という映画が上映されることに決まった時に、そこが空いているのを見て、ポスターを張って欲しいとお願いしたら、映画館側からそういう返事だったらいい。素人考えでは鍵を失くしたら新しく付け替えればいいのかと単純に思うのだが、それから映画の特別鑑賞券を買おうとお客さんが映画館に電話したら、その時電話に出た女性の受け答えが要領を得なくて製作会社にクレームの電話が入ったという。これは直に僕が聞いた話だ。これはどうか、単に「わらびのこう」だけに対してなのか、それとも他の映画に対してもそうなのか、いずれにしても現場がいくら名作を作っても上映される段階でこうでは現場が泣くではないか。それにしても映画鑑賞人口が減っている今、映画館には映画の好きな人に勤めてもらいたいものだ。9月27日に映画館へ見に行ったらポスターが張ってあってほっとした。

僕は通勤に小田急線を利用している。その車内に本を一冊忘れた、新宿から出る各停の車内で本を読んでいた時、携帯に電話が入った。あわててホームへ降りて電話に出た、その時車内に忘れたらしい。すぐにホームにある遺失物係に届けに行った。僕の前に二人並んでいた、僕の番になった時すでにその各停は東北沢あたりを走っていた。下北沢では間にあわず、経堂と向ヶ丘遊園で車内を見てもらったが本は見つからなかった。各停だから全駅にいる駅員に見てもらえそうだが駅員の手が足りなくて他の駅では無理だと言われた。丁寧な遺失物係の対応を見ていて、内心はうんざりしているんだろうなと思いつつ自分の仕事を振り返った。役者10人にマネージャー一人としよう。それでも役者側から見るとマンツーマンの関係だ。一人一人の俳優と真摯に向き合っているだろうか。本を忘れて改めて教えられた。



# 各委員会 報告

## 外画動画部会

古市・江崎・松田 理事

外画動画部会は前会報で報告以後、約6回の外画動画実務小委員会を開催して様々な問題に対応し解決に当たって来ました。具体的には「運用表」の見直し、「新人登録制度」「NHKからの外画動画出演条件改定要望」の検討、などが実務小委員会の取り組んできた中心課題となります。委員会はそれぞれが現場を持つているマネージャーで構成されていますので会議に揃わないなどの問題も少なからずありましたが、現場を知っているがゆえのアイデアや適切な意見も多く、どの問題に関しても、マネ協側としての意見が枯渇することなくわが方の主張を曲げずに多様な問題を乗り切って来ました。長らくの懸案でありました運用表の改定なども大切な判断部分は理事会の意見を参考にしながら妥妥と合意に達して近日改訂版を会員事業者の皆様にお届けできるものと思います。音声連も法人化して社会に認知された組織としてより発言力を増してくるに違いありません。日俳連とともに業界の身近なパートナーとして一層、関係を正常化し、より情報を密にした関係を推進していく所存です。

## 対内対策委員会

亀井俊夫 理事

対内対策委員会は、「未収金処理」「ルール」「福利厚生」の三つの分科会に分かれております。本年度の活動と今後の課題に付いて報告します。

### 「未収金処理」

今年も会員の皆様からアンケートをとり、部外秘として「支払い遅延会社調査リスト」を作成して各社に発送しました。ここ数年マネ協で処理する問題は少なくなってきておりますが、調査リストにのった遅延会社でも、「うちは先にもらったので良かった」という報告も有りますので、各社の積極的な対応が必要です。マネ協が必要とされた時は全力を傾けて処理にあたりたいと思います。

### 「ルール」

推薦理事制度をとりいれた理事選挙の規約を手直ししてから三年経ちましたので、その良否を検討する時期になっていきます。

また、マネ協法人化についても検討しているところですが、

### 「福利厚生」

今年もマネ協主催の健康診断を実施しました。

健康な体があつての私たちの仕事です。年に一度の健康診断が根付いてきています。加盟事業者の配慮をお願いいたします。また今年も、秋の研修旅行を実施しますので多数の参加者をお待ちしています。

### （その他）

マネ協ホームページの充実が叫ばれております。マネ協及び加盟事業者の更なる発展の為に期待されています。マネ協の総務といえる対内対策では、様々な問題が年々増えてきている状況です。

## 対外対策委員会

映像・演劇関係

田寺尚和 理事

九月の理事会での話題を2点、申し述べたいと思います。

まず、出演料ランクのゾーン制実施による現状についてです。出演料交渉をより自由に円滑に行うために実施したゾーン制度導入の結果、実質的には出演料の安値安定に流れていないかという懸念があります。ここで実態はどうかという情報を集め、再度検討する必要があると思われまます。

次に、テレビ映画の2次使用料が支払われないという事実についてあらためて疑問を提示したいと思います。かつて局制作のスタジオドラマからテレビ映画への移行期、その出演料は約3倍以上になり、当時はその破格の出演料ゆえ、「買い取り」という条件が通用しました。しかし、現在はオンエア1回分の出演料で、すべてのメディアに転用（流用）されてしまふことがまかり通っています。日本に進出してきているメジャーの外国映画会社の日本語吹き替え版の出演条件を見ても、建前は「買い取り」を謳っていますが、その契約書の内容は日俳連と音声連との協定の下、使用できるメディアが限定され、明記され、それに相当する報酬が支払われているとされています。おそらくメジャーが遂行している契約内容はグローバル・スタンダードと思われるので、それから鑑みるに日本のTV映画がそうではないことには違和感を覚えます。確かに現行の日本の著作権法では映画著作物は買い取りという事になってはいますが、現実の出演業務、条件はそれにそぐわないものになってきています。やはりこの状態を改善するためには、国に働きかけ、このメディアの著作権についての見直しを促すべきであると考えます。

## 三団体・著作権関係

岩淵 佐津夫 理事

### 二つの協約に思う事

対外対策の（協会の）大きな柱に、NHK団体協約、外画動画出演実務運用表がある、今何れも改定、見直しの時期で委員が奔走しているところですが、改めて内容を吟味する機会を得て思うのですが、その中身の濃さに驚く次第です。21世紀は、多メディア時代その増殖は計り知れないものがあります。新しい時代に耐えうる協約、外画動画部会に於いては毎月、日常おこる様々な問題が実務小委員会で討議され見直し、改定に備えている。協約、覚書は民放4社、難産だったフジテレビとの協約等まだ有ります。協約先との関係を見渡してみても、どうでしょう。昔と違って入館が容易でないことも有りましょう、民放各社との接点も希薄になり見直しや改定を迫る程現場での活気が感じられず協約も絵に描いた餅のようにも思えます。一方私達がドラマへの出演を求めて群がる制作会社（ATP関連）、何故かそこには協約は勿論、出演確認書さえ思うに任せず、正に無法地帯での競争のよう。ブロードバンド、コンテンツ、ライツの時代、地球規模で耐えうるコンテンツ（番組）作りが問われている今、作る側と演ずる側相互の理解が基本だと思えます。今回2つの協約を取り上げ申し上げたかった事は、この協約がどうを把握されているか、理解せずしてマネージメントは出来ないぞと申し上げたかったのです。色々な仕事場があり、要求も様々です、その時にこそこの協約を思い出して頂きたいのです。何が正しく、要求が妥当な物か等など、あの協約と余りにも違うぞと、一人一人いや皆が疑問に感じたとき新しい協約の目がでて来るのではないのでしょうか。是非もう一度御読み頂きたい、新しい時代のコンテンツ制作のためにも。

# [マネ協・会員事業者リスト: 116社]

㈱アーツビジョン  
 ㈱アイエス  
 ㈱アィムエンタープライズ  
 ㈱青ニプロダクション  
 ㈱アクセント  
 ㈱アクターズカンパニー  
 ㈱アクターズセブン  
 ㈱アクターズプロモーション  
 アスク・マネージメント  
 ㈱アドヴァンスプロモーション  
 ㈹アルファエージェンシー  
 ㈱アンクルベイビー  
 ㈹あんどろ  
 ㈹イーアンドエー  
 ㈹イジマルーム  
 ㈱稲葉企画  
 声の劇団イマージュ  
 ㈹岩測ぐるうぶ  
 ㈱ウィットプロモーション  
 ウィナー㈱[ういなあエンタテイメント]  
 ㈹ヴィーヴ  
 ㈹エーエス企画  
 ㈹ぷろだくしょんA組  
 ㈱81プロデュース  
 ㈹エスプレイング  
 ㈱エヌ・エー・シー  
 ㈱エ・ネスト  
 ㈱エム・アール  
 M. M. P  
 ㈹エムカンパニー  
 ㈹えりオフィス  
 ㈱円企画  
 ㈱大沢事務所  
 ㈹大平プロダクション  
 落合事務所  
 劇団 擧  
 ㈹オフィス 薫  
 ㈹活動屋  
 ㈹キリンプロ

㈱九プロダクション  
 銀プロダクション  
 ㈱クオレ  
 クレイン・リバー[㈱アガ・内内]  
 ㈱黒沢良事務所  
 ㈹ケッケコーポレーション  
 ㈹賢プロダクション  
 ㈹元気プロジェクト  
 ㈹現代制作舎  
 ㈹ケンユウオフィス  
 ㈱コアミックス  
 ㈱コスモスペース  
 ㈱さち子プロ  
 ㈹サニープランニング  
 ㈱サンオフィス  
 ㈱三桂  
 ㈱オフィスCHK  
 ㈱CSRコーポレーション  
 ㈹ジェイ.クリップ [リベルタ]  
 ㈱シグマセブン  
 ㈱仕事  
 ㈹シス・カンパニー  
 ㈱ジズ  
 ㈹スターダス・21  
 劇団 昂  
 青年座映画放送㈱  
 ㈱ソーラーカンパニー  
 ㈹宝井プロジェクト  
 ㈹田上事務所  
 ㈹竹内事務所  
 ㈹プロダクション タンク  
 ㈱テアトル・エコー  
 TAG(東京アナウンス学院)  
 ㈹TABプロダクション  
 D・R・A [㈱放送表現教育センター]  
 ㈱オフィス テン  
 ㈹to-do  
 ㈱劇団東俳  
 ㈱東京乾電池

㈹東京芝居倶楽部  
 東京俳優生活協同組合  
 ㈱同人舎プロダクション  
 ㈱オフィス・トクヒロ  
 トム・プロジェクト㈱  
 ㈹中里事務所  
 ㈹劇団21世紀FOX  
 オフィスP. A. C  
 ㈹劇団俳優座  
 ㈱ぷろだくしょん パオパブ  
 ㈱ファンシーフリー  
 プランニング メイ㈹  
 ㈱古館プロジェクト  
 ㈹プロジェクト・メガリス  
 プロモックス・アーティスト・カンパニー  
 劇団 文化座  
 ㈱文学座  
 ㈱放映新社  
 ㈱宝映テレビプロダクション  
 ㈱舞プロモーション  
 ㈱マウスプロモーション  
 ㈹オフィス まとば  
 ㈹ミズキ事務所  
 ㈱劇団民藝  
 ㈱ムーブマン  
 劇団ムーンライト企画  
 ㈱メイ コーポレーション  
 モアナ・ファクトリー  
 ㈱矢島聰子事務所  
 ㈹山田栖峯子事務所  
 ㈱ゆーりんプロ  
 ㈱ヨコザワ・プロダクション  
 ㈱ラヴァンス  
 ㈱ロビンフッド・アーチスト  
 YAG(代々木アニメーション学院)  
 ㈱劇団若草  
 ㈹オフィス・ワット  
 ㈹ワンダー・プロダクション

## 賛助会員一覧 (2003年10月現在)

- |   |  |  |
|---|--|--|
| <b>&lt;法人&gt;</b> ㈱NHKエンタープライズ21<br>㈱オセロット<br>紀伊國屋ホール<br>㈱C. A. L<br>松 竹㈱ | 松竹京都映画㈱<br>㈱テレビ朝日<br>㈱テレビ東京<br>㈱東京演劇音響研究所<br>㈱東京放送 | ㈱日本劇団協議会<br>日本テレビ放送網㈱<br>㈱俳優座劇場<br>㈱フジテレビジョン |
| <b>&lt;個人&gt;</b> 戊井 市郎<br>角野 卓造<br>平 淑恵                                  | 鶴山 仁<br>北村 和夫<br>西川 信廣                             | 岡本富士太<br>坂口 芳貞<br>渡辺 徹                       |
| 加藤 武<br>鈴木 光枝   |  |  |

**■(賛助会員)加入のお願い**

当、日本芸能マネージメント事業者協会では、法人・個人を問わず、当協会の事業を援助して下さる「賛助会員」を募集しております。

---

- 入会は、随時受付、年間を通していつでも入会申し込みを承ります。
- 会費は <法人> 1口 30,000円  
<個人> 1口 10,000円  
会員資格は入会から一年間です。
- 会員特典は機関誌「マネ協」等の贈呈、協会の各種イベントの参加入場等々です。



## MOVEMENT REPORT

JAPAN MANAGERS ASSOCIATION

## &lt;2003年4月&gt;

- 3日 三者[マネ協・日俳連・音声連] 外画動画分科会  
(日俳連)  
4日 マネ協・決算監査(マネ協)  
7日 常務会(マネ協)  
10日 マネ協・実務小委員会(マネ協)  
15日 三者・外画動画分科会(日俳連)  
22日 常務会・第140回定例理事会(NHK青山荘)  
// 第13回定時総会・懇親会(NHK青山荘)  
30日 PRE常任幹事会(PRE)

## &lt;2003年5月&gt;

- 7日 マネ協・実務小委員会(マネ協)  
8日 NHK・三者会談(日俳連)  
// 三者・実務小委員会(日俳連)  
9日 外画動画分科会(音声連)  
13日 常務会・第141回定例理事会(マネ協)  
23日 PRE常任幹事会(PRE)

## &lt;2003年6月&gt;

- 10日 常務会・第142回定例理事会(マネ協)  
11日 三者・実務小委員会(日俳連)  
19日 マネ協・健康診断(代々木病院)  
20日 //  
23日 PRE常任幹事会(PRE)

## &lt;2003年7月&gt;

- 8日 マネ協・実務小委員会(青ニプロ)  
11日 三者・外画動画分科会(音声連)  
// 常務会・第143回定例理事会(マネ協)  
23日 PRE常任幹事会(PRE)  
30日 三者・実務小委員会(日俳連)

## &lt;2003年8月&gt;

- 4日 日俳連主催『俳優の集い2003夏』  
(恵比寿エコー劇場)  
5日~11日 事務局夏季休業  
25日 PRE常任幹事会(PRE)  
26日 マネ協・実務小委員会(青ニプロ)  
27日 三団体[マネ協・劇団協・日俳連] 会議(日俳連)  
29日 三者・実務小委員会(日俳連)

## &lt;2003年9月&gt;

- 9日 常務会・第144回定例理事会(マネ協)  
17日 三団体会議(日俳連)  
18日 「実演家の為の著作権・契約研修」研究会(芸団協)  
25日 NHK・三団体会議(日俳連)  
29日 第4期 PRE常任幹事会(PRE)

編集スタッフ連名 E-mail: manekyo@nifty.com

豊田 紀雄 岩淵佐津夫 佐藤 達郎  
内海賢太郎 松田 咲實 伊藤 信

## マネ協新加入事業者の紹介

ウィナー(株)  
[ういなあエンタテインメント]  
〒135-0062  
江東区辰巳1-5-17-1705  
TEL: 3522-5070  
FAX: 3522-5071



代表者 山本 哲司  
会員代表 同 左

(有)ケッケコーポレーション  
〒167-0043  
杉並区上荻2-4-12  
TEL: 5310-3537  
FAX: 5310-3838



代表者 難波 圭一  
会員代表 原田 茂

(有)ケンユウオフィス  
〒150-0046  
渋谷区松濤1-4-9  
サンエルサ410  
TEL: 5454-1241  
FAX: 5454-1245



代表者 堀内 賢雄  
会員代表 松瀬 直仁

(株)ジンス  
〒104-0032  
中央区八丁堀1-4-5  
幸和ビル  
TEL: 3551-2300  
FAX: 3551-2303



代表者 神 良二  
会員代表 同 左

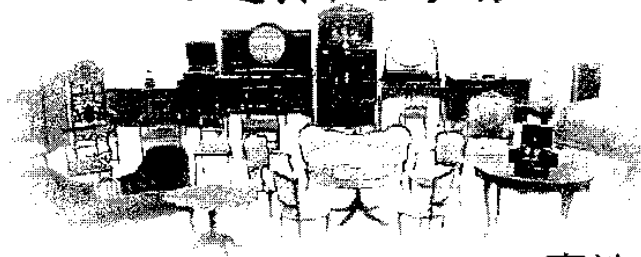
[退会事業者] ・(有)希楽星 ・オフィス三井

## 編 集 後 記 VOL.16

編集部の大黒柱であった脇坂理事が退任され、何とも寂しい編集部の陣容となってしまった。今号より、「現場マネージャーの独り言」と題するコーナーを設けました。思わずムフフと笑い出してしまうような失敗談や成功話をエッセー風に纏めてください。編修子にも経験有りますが現場を担当していればひとつやふたつ、笑える話にきっと遭遇するはず。本会報を、より親しみの湧く楽しい会報にするため皆様の楽しいエッセーや苦労話、失敗談を待っています。  
会報編集部 松田咲實

テレビ・映画・演劇・舞台・CM撮影・催事・イベント 家庭雑貨品から大型家具・時代劇から現代劇まで...

## 小道具レンタル



〒182-0022 東京都調布市国領町1-30-3

高津映画装飾株式会社

TEL 0424(84)1161/FAX 0424(84)1186/HP www.takatsu-web.co.jp/メールボックス mail@takatsu-web.co.jp





日本芸能マネージメント事業者協会会報

新春号

# マネ協

題字 杉坂あさ

◆ 発行 ◆

Vol.17

日本芸能マネージメント事業者協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿

1-29-5 グランドメゾン新宿東210

TEL. 03 (3225) 5984

FAX. 03 (3225) 5949

E-mail: manekyo@nifty.com

http://www.manekyo.com

発行日 平成16年2月27日

発行人 梅田 濠二郎

編集人 松田 咲 眞

印刷 谷 本 企 画

M A N A G E M E N T R E P O R T

## 2004年マネ協新年会を開催!



63社161名という過去最高の賑わいの中、乾杯

去る1月21日(水)赤坂ペンテオロッソにおいて恒例の「マネ協新年会」が開催されました。冷え込みの厳しい日ではありましたが、受付時刻には大勢の協会員や所属マネージャーが集い、梅田理事長の挨拶に続く来賓の力強い乾杯の後、パーティーに突入。久しぶりの仲間たちと楽しく談笑する姿があちこちに見受けられました。中盤新加入事業者の紹介なども行われ、会場は掛け声などで盛り上がり、最後の手締めは岩淵理事、中里監事が連携した変形、三本締めは勢いあまって会場と手拍子の呼吸があわず、ユーモラスに笑いの渦。抽選の賞品を受け取り、楽しい新年会は散会となりました。賞品提供にご協力いただきました各社様には、理事会としまして厚くお礼を申し上げます。(レポート)編集部 松田 写真:伊藤信

### マネ協 今年の目標

理事長 梅田 濠二郎



会員事業者の皆様、2004年を迎えてマネ協は更なる躍進の年にして参りたいと考えております。今年には理事改選の年でもあり、より活発な理事会を築く、よい機会になるでしょう。

私も長年の懸案でありました、法人化を実現するために努力して参る所存であります。又業界の変化に迅速に対応していけるような委員会体制も重要と考え、理事の皆さんとともに方策を検討してまいりたいと思います。会員事業者の皆様方にも宜しくご協力をお願いする次第であります。



# 『ランク制度撤廃後の関西J・K・L・M出演者の現状』

関西俳優協議会会長 田中弘史

関西民放四社(毎日、朝日、関西、よみうり)と関西マネージャー協議会を主体とする出演者側とが民放各社開局以来協定を締結していたランク制度(基準出演料)が、局側の都合で1999年度より一方的に撤廃すると通告された。

其の後、昨今に至るまでの経過報告をみると、まず出演料は出演交渉時に両者(局、出演者側)で話し合いによって決定する様になった。これは方式上、当然なのだが、矢張り制度撤廃による弊害が多々生じてきた。

ランク制度締結時には年一回定期的に契約更改があり、例えば平均的な演技者で平均的な出演回数であれば、1ランク乃至2ランクが殆ど自動的にアップしていた。ところが制度廃止に伴い、1999年度よりランクは据え置きという形になっている。現在、慣行になっている「出演交渉時に話し合いによる決定」については、撤廃時のランクをベースに成立しているのが現状である。

これは五年前のランクであるから、実質上ダウンを強いられている事になる。次に、もし制度が存続していたらと仮

定すると最低基準出演料(1999年28,000)あたりに該当するであろう若い演技者は、局との力関係あるいはプロダクション側の売り込み作戦の為(?)か、殆どE・Xに近いギャラで出演を強いられているらしい。

そういった中で、何故かA社のみが旧ランク(1999年度)を前提に制度を維持し若干のドラマを制作すると通告してきたが、制作形態により関西の俳優に適応された例は無い。

あとB社が、関西でドラマの灯を消さないでおうと、辛うじて年間数本の連続物。C社、D社に至っては関西での制作はゼロ、従ってランク云々よりもギャラそのものが発生しない。

以上、ランク制度撤廃のマイナスイメージと、それに伴って派生する諸問題の一部を報告したが、実際は全ての要因は関西でのドラマ制作(京都の各撮影所も含め)の激減であり、それによつてマイナスをマイナスとして実感出来なくなっているのが現状かもしれない。

関西の俳優を代表して、テレビ映像に対して諦観の思いでの報告でした。

## 『マネージャーの皆さん、もっと声を上げよう!』

副理事長 山崎 譲

昨年末から芸団協にてマネージャーと実演家、弁護士の方々と開催している「映像関連実務研修モニター講座」に参加し、マネージャー諸氏も契約・権利の勉強をしています。

その中で、昨年12月より地上デジタル放送が開始され、新時代の幕開けにも拘らず著作権法が旧態依然のままに不思議な感じが致します。具体的部分で言うと、テレビ映画が何回放送されても実演家に権利が発生せず、また映画著作物が放送されても二次利用の権利を得ていない事です。

テレビ映画制作会社の苦勞は熟知しています。しかし、徴収分配機構であるCPRA、PREが受け皿として整備され、後は出演した実演家の分配の範囲を何処までにするかの問題に絞られる現状になりつつあります。

日俳連等、実演家が中心になり法を変える運動をされてきましたが、多くの実演家を抱える我々マネージャー事業者も行動し、実演家の権利獲得の為に、協会全体で協力しよう。

**マネージャーの皆さん、もっと声を上げましょう。**

# 「マネ協第5回研修旅行&第1回青年部会」開催

恒例のマネ協研修会が青年部会の設立総会と併せた形式で昨年11月9日と10日に箱根ホテル小涌園にて開催され、ゲストを含め38名の参加となりました。今回は幹事の南沢理事の尽力で音響監督を招き「パネルディスカッション方式」で研修会が進められ、ゲストの熊沢プロデューサーや佐藤敏夫氏・本田保則氏といったベテランディレクターや新進実力派中野ディレクターといった皆さんが、演出サイドの目で我々に大変役立つお話やご指導を下さいました。又青年部会の立ち上げについて、発起人でもある賢プロ、内海健太郎副社長が力づよい設立主旨の挨拶と呼びかけを行いました。(レポート=編集部松田) (写真=事務局伊藤)



青年部会の開会の挨拶をする幹事の南沢理事



ゲストの行々、左から中野徹氏・熊沢博之氏・本田保則氏・佐藤敏夫氏

熱く語るパネラーと聴き入る参加者



しらぶの内に集合写真

昨年11月、秋の箱根にてマネ協研修旅行が行なわれました。研修旅行に参加したのは今回が初めてで、しかも今回は「マネ協・青年部会の発足」がメインテーマという事で、緊張と不安で一杯でした。

そもそも「マネ協・青年部」とは、マネ協傘下のプロダクションの中から主に現場主体の若手マネージャーが集まり、現場で起こっている諸問題からより良い仕事環境作りなど、気が付いた事は小さな事でも話し合い、現場の観点から解決策を見出し、少しでもマネ協全体の力になればと思い、立ち上げたものです。

今回の旅行では、6名のパネラーが前に座り、議題を立てて

他の参加者からの質問・疑問等に答えていくという、パネルディスカッション方式で行なわれました。ディスカッションの内容としては、ディレクターが役者に求めるもの、私たちマネージャーが役者を育て売り込むことへのアドバイス、音声導とマネ協とのより良い関係作り、契約についての問題など多岐に亘り、とても有意義なものになりました。もちろん旅行ですので、その後の宴会も……。今後もこのような機会を作って、若手のマネージャーの方々にも興味を持って参加して頂き、マネ協全体の交流を深めていきたいと思ひます。

賢プロダクション 内海賢太郎



# 現場マネージャーの独り言

(匿名氏)

## 釜飯、恐い！

私が見習いマネージャーになって半年くらいのことである。仕事で大変お世話になっているプロデューサーを接待することになった。先輩マネージャーのカバン持ちのようにしていつも先輩マネージャーとペアになって仕事を教えてもらっていた時代のことであります。赤坂界限にある某TV局のプロデューサー氏は、新前マネージャーの私などは話も聞いてもらえないような大物といった雰囲気です。超多忙な人物であった。先輩に連れられて、胸を高鳴らせながら予約した、こ綺麗な和風の店は、高級感溢れた店で、私のような年齢の人間にはチョットためらってしまうような雰囲気があった。乾杯のあと、初めて面と向かって話を聞いて貰える嬉しさもあって酒がすすみ、少しずつ打ち解けたムードも手伝って先輩とプロデューサー氏の楽しい会話を聞きながら、酒に不慣れな私は、徐々に酩酊していった。かなりの時間が経過して、先輩の語気荒く私を呼ぶ声に私は我に還ったのでした。「松っちゃん！！、駄目じゃないか！○プロデューサーの釜飯をくってしまっては！」私は酩酊した濁った目のままでも薄目を開けやっと状況を理解した。空腹だった私は酔いもあり、どうも接待に呼んだプロデューサーの釜飯を平らげてしまったらしい。しかもこの店はおいしい釜飯が売りの店で、二人前一緒に炊き込まれた釜飯を先に食べ始めた私が、どうも食い尽くしてしまったということらしい。しかし、喰ってしまったものは仕方が無いあとの祭り。原状回復は不可能である。翌日営業会議でこの失敗談について克明にマネージャー会議に報告され失笑を買ったのは言うまでもありません。後日そ

のプロデューサーから、「くいもののうらみはこわいぞ！」とからかわれながら、山ほどの仕事を決めていただいたのでした。以来「釜飯店」の前を通る度、新前マネージャー時代の切ない失敗談を思い出しては、冷や汗をぬぐうのであります。

## その②・マネージャーといえば「顔」がイノチ

やはり新人マネージャー時代の先輩からの指導の中に「マネージャーといえば顔がイノチ」と言う説明があった。だから私はマネージャーに採用されたんだなどとほくそえんでいるとだんだん意味が違ってくることに気がついた。「顔」とはつまり、あの人は顔が効くなどの意味の顔であり、人脈・顔見知りの深さなどを言う場合の「顔」のことだったので、私は思いっきり勘違いをしていたことになりました。確かに長年マネージメント業に従事してこられたベテランマネージャー氏は一様にマネージャーらしい深みのある表情をしていることに気づいた。

その昔、ロケ弁当を俳優スタッフよりもいち早く食べてしまい、叱られた過去など、みじんも感じさせない、いい顔をしている。ベテランマネージャーたちの自身に満ちた仕事振りをみていると「やっぱ、マネージャーは顔だね」と確信してしまう昨今なのでありますが、ちなみに頭髪の生え際が後退し、顔が広がったのは業界的に言う「顔が広い」とは意味が違い、医学的な単なる脱毛現象なのだと。しかし筆者にはこれも苦勞を重ねてきた年輪のように思えるのがいかながなものだろう。



# マネージャーの為の研修会

## 「放送出演マネージメントの実際」開催。

主催: PRE

共催: マネ協

後援: 劇団協

昨年12月8日13時～恵比寿エコー劇場においてPRE主催の研修会が開催されました。これはPRE、CPRAの助成金によって開催されたもので、マネ協も共催に名を連ね芸能マネージメントの真髄に迫る法律問題などの説明も弁護士先生より行われ大変意義ある研修会となりました。PRE代表幹事であるマネ協守屋理事も第一部でPREの役割と業務説明を行い、今後の活動について皆が期待を寄せ、マネ協の役割を強く認識し理解する絶好の研修会となりました。今後もPRE、CPRAの助成金を得て意義ある研修会を継続できれば意識の高い事業者の団体に弊教会も成長していくに違い無いという印象の研修会でした。(レポート=編集部松田 写真=事務局伊藤)



PRE代表幹事の守屋氏による挨拶



いつにも増して関心の高い参加者達



最後に行われたパネルディスカッションのパネラーの行々

「芸能ネット」はインターネットを利用した芸能業界の総合名鑑。

**芸能ネット**  
**geinou-net**  
[www.geinou-net.com](http://www.geinou-net.com)

ビジネスモデル特許出願中

### 芸能ネットとは？

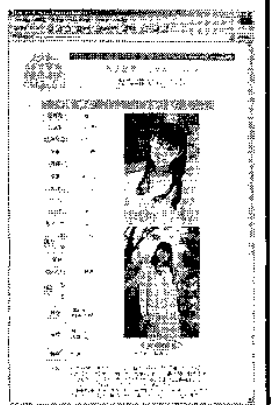
欲しい人材を誰でも自由に検索可能。当サイトが認定した業界内の方には、パスワード入力により詳しい情報を提供します。  
 業界経験者・芸能関係事務所所属者のプロフィール掲載は無料(要審査・未経験者は有料)。プロフィール登録者に仕事の依頼があった場合は、依頼承諾の確認を取らせていただいた後、依頼主と登録者として直接取引をしていただくので仲介手数料は不要です。

### 登録可能ジャンル

【実演家部門】俳優/タレント/声優/歌手/アナウンサー/キャスター/ナレーター/DJ/パーソナリティ/レポーター/司会/モデル/ダンサー/演奏家/お笑いタレント/漫才師/ミュージシャン/声楽家/モデル/演芸家/舞蹈家/パントマイマー/スタントマン ほか  
 ※【スタッフ部門】の登録もあり。 ※上記以外のジャンルでも登録可能。

### お問い合わせ

株式会社 日本ナレーション演技研究所 インターネット事業部  
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-14-3/松田ビル1F TEL: 03-3372-5671



〈登録例〉

# 法人源泉税撤廃1年を迎えて「納税積み立ての薦め」

副理事長 松田咲實

会員事業者の皆様には昨年の「源泉徴収制度廃止」後、資金繰りが楽になったという方も少なくないことでしょう。なぜなら、従来実施されていまして出演料の10%が源泉徴収されずに、ダイレクトに事務所に支払われてきていますので運転資金が潤沢になってきているのも事実でしょう。しかし私たちは立ち止まって冷静に考えてみる必要もあります。なぜなら、税がなくなったわけではなく、各事業者は年度末の決算のあとの法人税額を算出し、納税しなければならないのです。そのためには納税のための資金が必要になるはずで、決算期を迎えてハタと困ってしまっている会員事業者もいらっしゃるかもしれません。考えようによっては源泉徴収されていたのは税務署に納税目的の積み立てを

していたのだと考えることもできます。還付金は納税額を相殺精算後、余分に源泉徴収されていた分を還付されるので、今までと異なり源泉納付と言う税務署への積み立てをしていなかった現在では、決算後の精算金還付などはないというのが現実です。対応策としては毎月の売り上げ入金額の10%程度を積み立てておくことにより、納税の原資を積みたてておく、方策が最良の方法と思ってお薦めする次第です。会社独自の納税積立金は、場合によっては各社事情により資金繰りとして、あるいは決算対策として取り崩して運転資金として活用することもできる、一石二鳥にも三鳥にもなるプール金としても活用可能な、「便利金」になるに違いありません。

## ■ [2004年度・NHK基準出演料（ドラマランク）改定の報告]

既に通知致しておりますが、昨年10月に三団体がNHKへ行ないました『出演条件に関する申し入れ』について、申し入れ内容とNHKの回答を掲載致します。

(1) 新人に適用する最低基準出演料に関して、テレビ（現行18,000円）を22,000円に、ラジオ（現行17,000円）を20,000円に改訂して頂きたい。

<回答>⇒受信料収入の低迷、設備投資の増加等の関係もあり、最低基準出演料は現状通りお願いしたい。

(2) 10年程度のキャリアを持ち、実際に放送番組に出演実績のある俳優の基準出演料が、テレビ33,000円、ラジオ30,000円を下回ることが無いよう配慮して頂きたい。

<回答>⇒俳優の経験年数に応じて最低を保障することはできない。個別に実績を勘案してランクを設定していきたいのでご了解頂きたい。

(3) 基準出演料の上限をテレビ300,000円、ラジオ100,000円にして頂きたい。

<回答>⇒現行通りTV170,000円、ラジオ85,000円をお願いしたい。

(4) 所属プロダクション、所属劇団が推薦する俳優に関しては優先して重点的にランクアップをお願いしたい。

<回答>⇒NHKの番組出演実績を主にし、民放、舞台出演等の実績を参考にして改訂を行っている、プロダクションの推薦事由により個別交渉で決めていきたい。申請書類に特に推薦する事由を特記頂きそれを拝見して改訂に望みたい。

(5) 基準出演料の上限を超えた（俗称ノーランク）俳優のリピー特放送料算定については、今期決定する上限ランクに合わせて算定して頂きたい。

<回答>⇒ノーランクの方のリピー特料算定基準は、17万、15万、13万の3段階を設けている。現行通りお願いしたい。勿論、基準アップの交渉には応じたい。

追記（以下は、著作権部から制作現場・総務関係に橋渡しをお願いしたい件です）

a) 貴協会が制作する新しい番組に関する情報を、事務所・劇団が入手する手だてを講じて下さることを切望します。また、配役決定にオーディションの枠を広げて頂きたい。

b) マネージャーの入館に便宜を図って頂きたい。

<a・b回答>⇒ドラマ制作部門総務部門に要望を伝えた。様々な人が出入るので危機管理上の問題があるのでご理解頂きたい。ドラマ制作部ではマネ協傘下のマネージャーに若干の便宜を図っている。

c) ドラマの氏名表示は問題ないようですが、情報番組の声の出演などについては省略されるケースが多いようです。せめて民放並みに表示をお願いしたい。

<回答>⇒CPRAさんとの話で従来の慣行を尊重するとのことをご了解をいただいている。情報番組で氏名表示が可能なケースは改善を図っていききたい。具体的に番組担当に氏名表示すべきであると伝えていく。

d) 関連会社の収録が深夜になる事があるようです。出演者への対応がNHKの基準に則って行なわれるように徹底をお願いしたい。

<回答>⇒収録が深夜に及んだケースがあった。団体協約の遵守を徹底したい。

# 【マネ協・会員事業者リスト：116社】

- |   |  |   |
|---|--|---|
| <p>           ㈱アーツビジョン<br/>           ㈱アイエス<br/>           ㈱AIMエンタープライズ<br/>           ㈱青二プロダクション<br/>           ㈱アクセント<br/>           ㈱アクターズカンパニー<br/>           ㈱アクターズセブン<br/>           ㈱アクターズプロモーション<br/>           アスク・マネージメント<br/>           ㈱アドヴァンスプロモーション<br/>           (有)アルファエージェンシー<br/>           ㈱アンクルベイビー<br/>           (有)あんどら<br/>           (有)イーアンドイー<br/>           (有)イイジマルーム<br/>           声の劇団イマージュ<br/>           (有)岩渕ぐるうぶ<br/>           ㈱ウイットプロモーション<br/>           ウイナー㈱[ういなあエンタテイメント]<br/>           (有)ヴィーヴ<br/>           (有)エーエス企画<br/>           (有)ぶろだくしょんA組<br/>           ㈱81プロデュース<br/>           (有)エスプレイング<br/>           ㈱エヌ・エー・シー<br/>           ㈱エ・ネスト<br/>           ㈱エム・アール<br/>           M. M. P<br/>           (有)エムカンパニー<br/>           (有)えりオフィス<br/>           ㈱円企画<br/>           ㈱大沢事務所<br/>           (有)大平プロダクション<br/>           落合事務所<br/>           劇団 擢<br/>           (有)オフィス 薫<br/>           (有)活動屋<br/>           (有)キリンプロ<br/>           ㈱九プロダクション         </p> | <p>           銀プロダクション<br/>           ㈱クオレ<br/>           クレイン・リバー[㈱アガ・内内]<br/>           ㈱黒沢良事務所<br/>           (有)ケッケコーポレーション<br/>           (有)賢プロダクション<br/>           (有)元氣プロジェクト<br/>           (有)現代制作舎<br/>           (有)ケンユウオフィス<br/>           ㈱コアミックス<br/>           ㈱コスモスペース<br/>           ㈱さち子プロ<br/>           (有)サニープランニング<br/>           ㈱サンオフィス<br/>           ㈱三桂<br/>           ㈱オフィスCHK<br/>           ㈱CSRコーポレーション<br/>           (有)ジェイ.クリップ [リベルタ]<br/>           ㈱シングマセブン<br/>           ㈱仕事<br/>           (有)シス・カンパニー<br/>           ㈱ジンズ<br/>           (有)スターダス・21<br/>           劇団 昂<br/>           青年座映画放送㈱<br/>           ㈱ソーラーカンパニー<br/>           (有)宝井プロジェクト<br/>           (有)田上事務所<br/>           (有)竹内事務所<br/>           (有)プロダクション タンク<br/>           ㈱テアトル・エコー<br/>           TAG(東京アナウンス学院)<br/>           (有)TABプロダクション<br/>           D・R・A [㈱放送表現教育センター]<br/>           ㈱オフィス テン<br/>           (有)to-do<br/>           ㈱劇団東俳<br/>           ㈱東京乾電池<br/>           (有)東京芝居倶楽部         </p> | <p>           東京俳優生活協同組合<br/>           ㈱同人舎プロダクション<br/>           ㈱オフィス・トクヒロ<br/>           トム・プロジェクト㈱<br/>           (有)トリトリオフィス<br/>           (有)中里事務所<br/>           (有)劇団21世紀FOX<br/>           オフィスP. A. C<br/>           (有)劇団俳優座<br/>           ㈱ぶろだくしょん パオバブ<br/>           ㈱ファンシーフリー<br/>           プランニング メイ(有)<br/>           ㈱古館プロジェクト<br/>           (有)プロジェクト・メガリス<br/>           劇団 文化座<br/>           ㈱文学座<br/>           ㈱放映新社<br/>           ㈱宝映テレビプロダクション<br/>           ㈱舞プロモーション<br/>           ㈱マウスプロモーション<br/>           (有)オフィス まとば<br/>           (有)ミズキ事務所<br/>           ㈱劇団民藝<br/>           ㈱ムーブマン<br/>           劇団ムーンライト企画<br/>           ㈱メイ コーポレーション<br/>           モアナ・ファクトリー<br/>           ㈱矢島聰子事務所<br/>           (有)山田栖峯子事務所<br/>           ㈱ゆーりんプロ<br/>           ㈱ヨコザワ・プロダクション<br/>           ㈱ラヴァンス<br/>           ㈱ロビンフッド・アーチスト<br/>           YAG(代々木アニメーション学院)<br/>           ㈱若プロダクション<br/>           ㈱劇団若草<br/>           (有)オフィス・ワット<br/>           (有)ワンダー・プロダクション         </p> |
|---|--|---|

## 賛助会員一覧

(2004年2月現在)

<p> <b>&lt;法人&gt;</b> ㈱NHKエンタープライズ21            ㈱オセロット            紀伊國屋ホール            ㈱C. A. L            松 竹(株)         </p>	<p>           松竹京都映画(株)            ㈱テレビ朝日            ㈱テレビ東京            ㈱東京演劇音響研究所            ㈱東京放送         </p>	<p>           社日本劇団協議会            日本テレビ放送網(株)            ㈱俳優座劇場            ㈱フジテレビジョン         </p>
--	---	---

<p> <b>&lt;個人&gt;</b> 戊井 市郎            角野 卓造            平 淑恵         </p>	<p>           鷗山 仁            北村 和夫            西川 信廣         </p>	<p>           岡本富士太            坂口 芳貞            渡辺 徹         </p>	<p>           加藤 武            鈴木 光枝         </p>
---	---	---	--

### ■【賛助会員】加入のお願い

当、日本芸能マネージメント事業者協会では、法人・個人を問わず、当協会の事業を援助して下さる「賛助会員」を募集しております。

●入会は、随時受付、年間を通していつでも入会申し込みを承ります。

●会費は <法人> 1口 30,000円  
<個人> 1口 10,000円

会員資格は入会から一年間です。

●会員特典は機関誌「マネ協」等の贈呈、協会の各種イベントの参加入場券等々です。



# MOVEMENT REPORT

JAPAN MANAGERS ASSOCIATION

## <2003年4月>

3日 三者[マネ協・日俳連・音声連] 外画動画分科会

## <2003年10月>

7日 マネ協・外画動画実務小委員会(マネ協)

8日 三団体[マネ協・劇団協・日俳連] 会議(日俳連)

14日 常務会・第145回定例理事会(マネ協)

15日 NHK・三団体会議(NHK)

17日 民放4社・三団体会議(TBS)

## <2003年11月>

9日 第5回研修旅行&amp;第1回青年部会(箱根ホテル小涌園)

10日 //

12日 PRE常任幹事会(PRE)

17日 マネ協法人化への方法調査(文学座)

18日 常務会・第146回定例理事会(マネ協)

20日 「実演家の為の著作権・契約研修」研究会(芸団協)

// 「放送出演マネージメントの実際」打ち合わせ(マネ協)

25日 映像の二次利用を考える会(テアトル・エコー)

## <2003年12月>

8日 研修会「放送出演マネージメントの実際」

(恵比寿エコー劇場)

// 三団体会議(テアトル・エコー)

9日 NHK・三団体会議(NHK)

10日 日本の芸能マネージメントに関するインタビュー

(マネ協)

// 常務会・第147回定例理事会(マネ協)

12日 PRE常任幹事会(PRE)

19日 三者[マネ協・日俳連・音声連] 外画動画実務小委員会

(日俳連)

22日 マネ協、加入希望社との面談(マネ協)

26日 事務局仕事納め

## <2004年1月>

6日 事務局仕事始め

14日 PRE常任幹事会(PRE)

16日 二者・外画動画実務小委員会(日俳連)

21日 常務会・第148回定例理事会(ペンディオロッソ)

// 新年会(ペンディオロッソ)

27日 「TV・映画・舞台・広告出演に関する実務研修モニター

講座①」(芸団協)

## <2004年2月>

4日 「TV・映画・舞台・広告出演に関する実務研修モニター

講座②」(芸団協)

// 外画動画ランク申請、音声連へ提出

9日 マネ協法人化への方法調査(都庁)

10日 「TV・映画・舞台・広告出演に関する実務研修モニター

講座③」(芸団協)

12日 PRE常任幹事会(PRE)

13日 常務会・第149回定例理事会(マネ協)

16日 「TV・映画・舞台・広告出演に関する実務研修モニター

講座④」(芸団協)

24日 「TV・映画・舞台・広告出演に関する実務研修モニター

講座⑤」(芸団協)

## マネ協新加入事業者の紹介

### (有)トリトリオフィス

102-0074

千代田区九段南4-6-1

九段シルバーパレス404

TEL 3261-4886

FAX 3261-7499

代表者  
谷津 悦子会員代表  
高階由利子

### (株)若プロダクション

160-0023

新宿区西新宿7-22-1

上野ビル1F

TEL 3371-7251

FAX 3371-1067

代表者  
長尾 潤会員代表  
横矢 裕子

### 【除名事業者】

・ 樹稲葉企画

・ プロミックス・アーティスト・カンパニー

## 編 集 後 記 VOL.17

年明けの会報がこんなにも遅れてしまって、編集長として責任を感じています。編集部員は事務局伊藤信君が兼務して必死で手伝ってもらい何とかVOL.17を刊行できたという有様で、リアルタイムな会報など編集部員が揃わないと困難であるといわざるを得ません。業界のホットなニュースをお届けしてこそ役立つマネ協報になれるを信念に、これからも微力ながら役立つ会報に向けて努力する所存ですので、会員事業者の皆様のご理解ご協力をお願いいたすばかりです。

編集長・松田咲實

### \* 編集委員募集中です。

編集スタッフ連名 松田咲實 伊藤信(事務局)

● <http://www.manekyo.com>

● e-mail: manekyo@nifty.com

■ マネ協・新年会に景品提供を頂きましたこと、理事会一同厚く御礼を申し上げます。

### (株)クリニコ

樹アーツビジョン

樹アイエス

樹アムエンタープライズ

樹青ニプロダクション

樹アクセント

アスク・マネージメント

樹岩渕ぐるうぶ

樹ウィーヴ

ウィナー樹[ういなあインタイト]

樹エーエス企画

樹81プロデュース

樹エスプレイング

M.M.P

樹円企画

樹大沢事務所

樹九プロダクション

銀プロダクション

樹ケッケコーポレーション

樹賢プロダクション

樹元氣プロジェクト

樹現代制作舎

樹さち子プロ

樹三桂

樹オフィスCHK

樹シグマセブン

樹ジンス

樹スターダス・21

樹劇団昴

樹テアトル・エコー

TAG(東京アナウンス学院)

樹TABプロダクション

樹t o o d o

東京俳優生活協同組合

樹同人舎プロダクション

樹トリトリオフィス

樹中里事務所

樹ぶろだくしょんバオバブ

オフィスP. A. C

樹ファンシーフリー

樹プランニングメイ樹

樹劇団文化座

樹文学座

樹放映新社

樹マウスプロモーション

樹ミズキ事務所

樹劇団民藝

樹ムーブマン

樹モアナ・ファクトリー

樹若プロダクション

樹オフィス・ワット



# マネ協

題字 杉村 昭子

◆ 発行 ◆

Vol.18

日本芸能マネージメント事業者協会  
〒160-0022 東京都新宿区新宿  
1-29-5 グランドメゾン新宿東210  
TEL. 03 (3225) 5984  
FAX. 03 (3225) 5949  
E-mail: manekyo@nifty.com  
http://www.manekyo.com

●発行日 平成16年7月10日  
●発行人 久保 進  
●編集人 松田 咲貴  
●印刷 谷本 企画

M A N A G E M E N T R E P O R T

## 新理事長に久保進氏(青二プロ)再選!

今年3月に実施されました日本芸能マネージメント事業者協会の役員選挙は、選挙管理委員会によって厳正に実施されました。翌月、総会に於いて当選理事の承認が行われ、同日当選理事の互選によって久保新理事長の再任が決定しました。編集部では再選を果たし、新理事長に就任した久保進理事長に今後の抱負や展望を語っていただきました。

(インタビュー・編集部松田咲貴)

### 新理事長インタビュー

#### 「マネ協の進むべき道」... 理事長 久保 進

ご支持を戴き、再度日本芸能マネージメント事業者協会の理事長職に就くこととなりました。実際、当協会を法人化するため具体的手続きの作業を開始しなければならないのも、今期理事会に課せられた重要な任務と認識いたしております。梅田前理事長が奔走し、お膳立てを進めて下さった努力を無駄にしないように、一歩ずつ着実に歩を進めて参りたいと思っています。

私たちマネ協を取り巻く環境は、予断を許さないものがあります。マネ協結成初期の精神に立ち返り、マネージメント事業者の社会的・職業的地位の向上を果たすべく、諸先輩方の進めてきた路線を継承して推し進めて参りたいと考えています。そのためには、両副理事長を含め理事会が一体となり結束して取り掛かるべきと考えます。課題は山積しています。

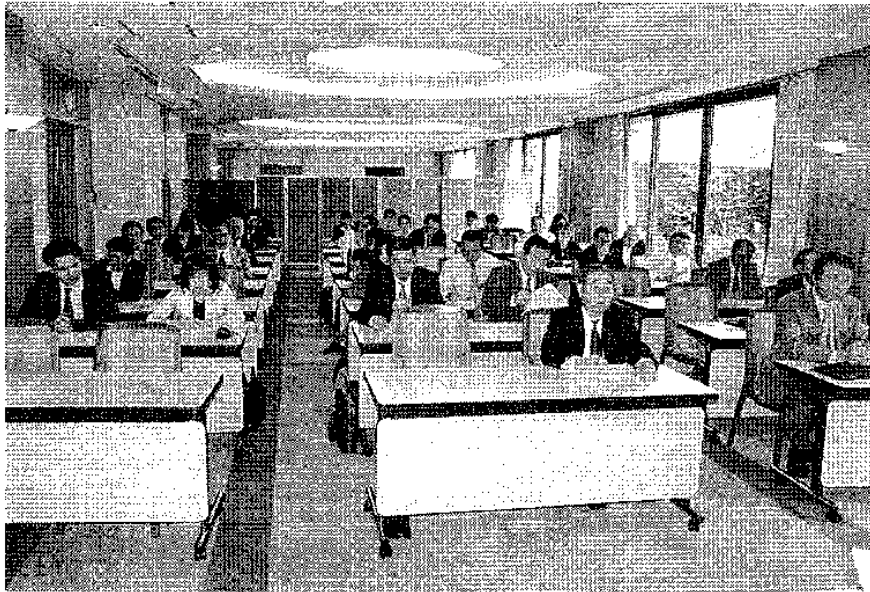
会員事業者は所属する俳優を擁護し、出演の諸条件を向上させてこそ、そのマネージメントの役目を果たしたといえます。未加入の事業者にも呼びかけ、組織として大きなパワーをつけることも、私共の意向を業界に反映させる手立てのひとつと考えます。マネ協は多くの実演家を擁する事業者の団体であり、出演条件の取り決め等にはマネ協の意向を尊重してもらえるような発言力の背景となるパワーバランスのことも考慮していくべき時期に差し掛かっているのではないかと認識しています。

成熟期に入ったマネ協の舵取りは、対外折衝も含めて一筋縄では収まらないことは承知しているつもりです。今期理事会に課せられたテーマは「事務局の充実」や「民放ランク制度のあり方」など、見直すべき点や再検討を要する課題も少なくありません。積み残し課題の無いように鋭意努力して参る所存です。更には、会員事業者の皆様の意見を十分に吸い上げて運営施策に反映させていくのが私の役目だと言う姿勢を持ちつづけ、誠心誠意理事長の職務に邁進したいと決意しています。

会員事業者の皆様のご建設的なご意見ご提案をお待ち申し上げます。



# 第14回 定時総会 & 懇親会開催



平成16年4月22日、NHK 青山荘にて第14回定時総会が開催されました。来場46社と委任52社を合わせ98社となり総会成立。主な議題は、決算予算案報告・事業報告・役員改選報告・マネ協法人化についてでした。マネ協法人化は、事前に郵送されていた定款案や法人化手続き案が承認され、新理事会のもと順次進められて行く事になりました。総会後の懇親会は、来賓の方々も合わせ45社88名の参加で、こちらも又盛況のうちに幕を閉じました。

## マネ協法人化への手順について

理事 亀井俊夫

4月22日マネ協第14回定時総会に於いて、マネ協法人化が決議され、定款及び社員規定、共済規定が承認されました。

「有限責任中間法人日本芸能マネージメント事業者協会」という名称になります。

平成14年4月1日施行の中間法人法によって設けられた法人であり、関連団体の音声連も昨年4月に中間法人として法人化されました。

法人化の最大のメリットは何よりも、法人格を持つことによる社会的な信用です。「団体協約」や「団体契約」の法的な当事者になれるのです。これからは、NHK、民放局や音声連、芸能文化諸団体との協定を結ぶことが出来るようになります。

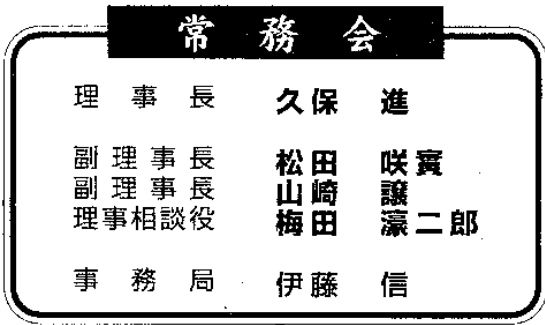
新理事会は総会で説明したマネ協法人化の手順を押し進めてゆきたいと思っています。

現在のマネ協会員114社全てが「設立時の社員」となるのは、定款への社員捺印など物理的な問題があるので、理事及び監事16社によって設立し、登記完了後、残り98社が加入という形式をとることになりました。

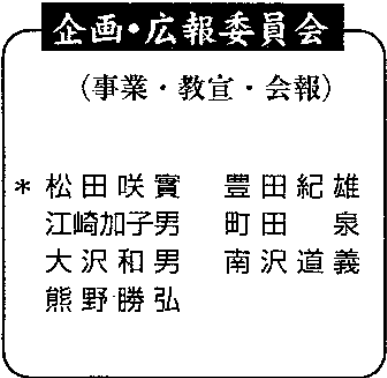
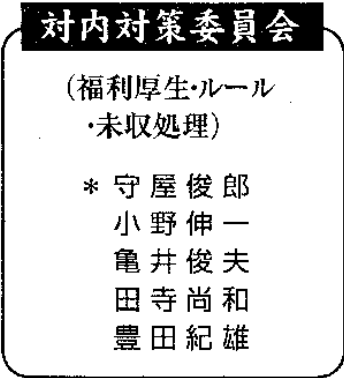
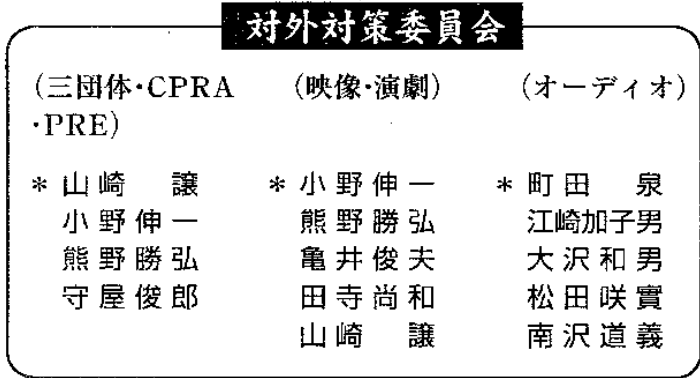
- ①定款（総会で承認済）を作成し、公証人の認証を受ける。
- ②法人成立前に社員総会（現役員16社にて）を行い理事及び監事を選任（現マネ協の役員継承）
- ③基金の拠出（総額300万円）
- ④理事及び監事による、基金等の設立手続きの調査。
- ⑤理事長（申請人）による登記申請。
- ⑥登記完了後、残りの社員（98社）の入社。
- ⑦「有限責任中間法人日本芸能マネージメント事業者協会」への移行完了。

\*理事会は、本年中にマネ協法人化の手順を回りたいと思いますので、会員の皆様の御協力よろしくお願ひ致します。

# 新理事会体制と委員会構成図



\*印が各部会の部会長です。



## 私の抱負



副理事長  
松田咲實

日本芸能マネージメント事業者協会は、今期最も重要な局面に差し掛かっていると私は認識しています。長年の懸案でありました法人化の申請やそれに伴う諸手続きも、今期理事会の大切な遂行目標になってくるに違いありません。私は今期で連続副理事長5期目を迎えることに成り、運営の勝手も習得した現在、久保理事長の片腕となって協会の運営が円滑に進むように、本来の補佐役を完全にこなすことが課せられた役目と認識して、その任務に邁進し役割を果たしたいと心がけています。副理事長としてバランス感覚を持って当協会を見渡し、各委員会の方針に適切な意見や提案を行えるように私自身も勉強していかなければと、自戒して責任の重さを痛感している次第です。

また、当誌「マネ協」の編集長としても、大切な情報をつぶさに会員事業者の皆様にお届けできるように頑張りたいと思います。皆様の情報提供のご協力をお願い致します。



副理事長  
山崎 讓

マネ協、法人化を進め、業界における、信頼・信用を高め、存在意義を明確にする。加入事務所を増やし、会員にとって風通しの良い強力な、協会にしたい。将来に向け、放送局・映画界・映像制作会社と、キチット権利問題を話し合い、PREと共に二次利用の分配を、権利者に行き渡る道筋をしっかりとつけて行きたい。



理事相談役  
梅田濠二郎

私は、これまで三期6年に渡り理事長職を務めさせて頂きました。その間、本紙「マネ協」の創刊やホームページの開設、研修旅行や研究所卒業生オーディション等の実施といった、新たな活動やイベントが始まっております。又、他団体との協力によりPREを創設できたことは、実演家のマネージメントに携わる個々のマネージャーにとっても、マネ協という組織にとっても大きな意味を持つことでしょう。

この6年間で、事業者協会としての組織的活動を本格化させることが出来たのも、副理事長はじめ、理事・事務局の皆様方のお力添えの賜物と感謝致しております。近年は体力的な不安も感じるようになって参りましたので、今後は理事相談役という立場で影ながら協力させて頂くつもりでおります。宜しくお願い致します。

## 理事 大沢和男



この度は、マネ協の理事就任をさせて頂き、戸惑いも感じ乍ら、よし！！ひとつ何か力になればという感じしております。私にとりましては唯一オーディオ関係36年の経験が有ります。その唯一の経験を活かして今後は微力乍ら何か、お手伝いが出来ればと考えております。

今や内外ともに、相変わらずの政治。経済は混迷状況、取り巻く環境も決して良い状態とはいえません。

我々業界で働く者達もその一人です。全体的な不景気はまだまだ当分続きそうですが。

話は変わりますがマネージャーという仕事は、一般に苦しい地味な仕事と言われてしまいます。業界内での地位も時に低く見られがちです。働くスタッフ、マネージャーが将来、希望が持てる「最もやり甲斐の有る仕事」と思ってくれるような環境を目指したいと思えます。タレント、役者との強い信頼関係ができること、仕事を決めた喜び、そういうマネージャーとして「実感」を大切に、またその「実感」を生活にフィードバックできるべく評価してやれればと思っております。それが我々の業界で働くスタッフの未来につながると確信しております。

## 理事 亀井俊夫



マネ協に関わった多くの諸先輩が、任意団体のマネ協でなく、法人格を持ったマネ協を作りたいと望んでいました。

マネ協の法人化が実現することは、マネージャーの職能的な地位向上を目指すうえで、歴史的な大事業の第一歩となるでしょう。

今期も対内対策委員会での、福利厚生・ルール・未収処理部会の垣務理事として縁の下の役割を果たしてゆきたいと思えます。

福利厚生では、今年もマネ協主催の健康診断、会員の要望をふまえて秋の研修旅行を行いたい。

ルールでは、マネ協法人化に伴う諸問題を解決して、年内中にマネ協法人化を目指したい。また、実演家の安全対策について労災連と協力してゆきたい。業界の繁栄のため、共存共栄、公平、寛容の精神で諸問題に取り組みたいと思えます。

## 理事 熊野勝弘



今回またまた推薦理事を拝命することになりました。私がマネージャーという仕事について約30年経ちます。この間いくつものプロダクションにお世話になりました。マネージャーとはどういう職業なのか、広辞苑によるとマネージは取り扱うこと、処理すること、管理すること、マネージメントは管理、支配、経営、マネージャーは支配人、監督、管理人、

理事、と書いてあります。私はもう一つクリエイイトする人というのを付け加えたいと思えます。

自分の所属している会社の俳優さん達にどういう仕事をしてもらいたいか、その夢が実現できるよう、人に働きかけていけるようなマネージャーになれるよう努力したいと思えます。今年もマネ協の青年部会を通じてそういう事を勉強したいと思えます。

## 私の抱負

## 理事 江崎加子男



総会の度に思うことは、会員の方々がマネ協に対して無関心なことである。せめて役員改選の時くらい、投票して自分の意志を示して欲しいものです。我が国でテレビ放送がスタートし

て50年。今年3月1日に業界始まって以来の大変なニュースが入ってきた。ムービーTVの件である。ムービー側の説明が2日にあり、マネ協としても話し合いを重ねた結果、各社個別の交渉よりも窓口をマネ協一本と決め、委員長を町田さんをお願いすることとなった。当初ムービー側の対応の甘さで、マネ協としても出遅れは認めなかった。但しマネ協の結束と、委員長の再三の交渉により、ムービーの方から情報が入り新しいスポンサーがほぼ決まり、手続き等の都合で7月1日調印で社名は変更になったとしても、マネ協に対しては責任を持って対処するとの回答を得た。まだ解決には至っていないが、町田委員長の労をねぎらいたい。今回に限らず、平常時でもマネ協の存在を認識して、活動に参加して欲しいものです。

## 理事 小野伸一



今年度、マネージメント事業者協会は大きな転換期を迎えております。皆さんもよくご存知の法人化問題であります。法人化はマネ協ができた当初からの悲願でありました。団体協約の

当事者として、協約書にマネ協の名前を冠することができるということは、なににもましてマネージメントという仕事そのものを一般社会に正当な職業としての認識を与え、なおかつその仕事に従事する我々に大きな自信と誇りを呼び起こさせるものであります。

またその瞬間に理事の一人として立ち会える喜びを、大いなる夢と希望をもって受け止めたいと思えます。そしてそのことの意味を若いマネージャー達に教えたいと思えます。

役者と対等な関係であり、また良き仕事のベストパートナーとしてマネージャーはあるべきだと思います。その第一歩としても、法人化は歓迎されるべきものであると考えます。

理事 町田 泉(実務小委委員長兼務)



この度、平成16年新理事会より推薦され、2年振りに担当理事に復帰する事となりました。マネ協の地位向上の為、微力ながら尽力したいと思っております。さて、6月8日の理事会にて、外画動画部会は、音声の仕事に関する全般、(外画・動画・CM・ゲーム・携帯用着信ボイス等)

に枠を広げ、「オーディオ部会」に改称する事になりました。新メディアの料率、目的外使用料等の問題に、取り組んでいきたいと思っております。それに伴い、実務小委員会の再編成を早急に行い、外画担当・動画担当・他音声(CM・ゲーム等)担当の3部門の副委員長を人選し、その各部門に、各委員を配置したいと思っております。又、過去2年間の仕掛かり問題として、新運用表見直し案の決定書の配布を第一に。そして、ムービーテレビジョン株式会社の凍結された出演料の100%の支払い、更に、CSディズニーCHの歌収録分の料率決定。更には、CS放送に関する特別ルールの料率見直し等、相変わらず問題は山積みとなっております。これらの諸問題の一日も早い解決に向け、皆様のご協力何卒宜しくお願い申し上げます。

理事 田寺尚和



今期、映像・演劇関係と福利厚生・ルール未収処理を担当することになりました。この中でも、以前担当した出演料未収問題は未だ抜本的な対策がない重要問題です。どの制作会社も制作費を抑えらざりぎりぎり日々の仕事をしている現状はありますが、我々も防衛手段をもつ

その現状に対処しなければならないと思います。これまでは、出演料を支払ってくれるまで、ただ待つというように悪い慣習がまかり通っていました。

しかし、昨今の厳しい制作状況に対応するためには、ま早期に未収会社、支払い遅延会社などをピックアップし4月から改正された「下請代金支払遅延等防止法」に該当しない制作会社については、出演終了後何日以内には必出演料を支払うようなルールを確立し、それをマネ協の前をもって確約させるということが必須だと思われますその第1歩となるのが、皆さんからの情報です。皆さん日々の業務の中で遭遇する情報を広く得ることから始めたいと考えております。宜しくお願い致します。

理事 南沢道義



アナログからデジタル時代への移行、番組を収録するシステム・方式も大きく変わろうとして居ります。5・1サラウンドの時代へ、ハイビジョンの時代へ、テレビ放送は機器が話題の中心に座って居ります。忘れては成らない事、大切なのは「人間力」です。魅力ある企画、卓越

した表現力、深みの有る芝居、癒される音楽。大切なのはアナログ感性がデジタル時代の機軸です。これからのプロダクション活動は「人間力」溢れる俳優の育成、マネジメントが必要不可欠です。バブルの時代も、バブルが弾けた時代も、関わるエンターテイメント産業の中で、真摯に純粋に演じ続ける俳優、声優の力は、大きな魅力と成って居ります。問題山積みの業界への迅速な対処を求められる新理事会。力不足ではありますが、任期を全う出来る様ご指導の程、宜しくお願い致します。

理事 豊田紀男



マネ強の副理事長をかれこれ十年近くやって、今回の選挙で副理事長という書きがとれてほっとしたところである副理事長時代、NHK及び民放各社の作権関係者と何十回なくランク交渉のに望み、俳優の地位向上を、時に喧嘩で叫ぶように訴え続けた。しかし乍ら

感として、近年益々俳優の仕事量、ギャラの不公平さが立つようになってきている。

実力ある演技俳優、将来ある若手俳優は今後どうしたいのだろう。

劇場の閉館、縮小、テレビドラマの低迷、プロデューサー、演出家、キャスティングディレクターの多忙さ故の不強。さて、残り少ない人生、体力、気力を取り直して頑らなくては……さしあたり、マネ強主催で小さな舞台をれたらなあ。

理事 守屋俊郎



このたび、理事に選任されて責任の重さを痛切に感じています。十年前に初めて理事に選任された時は、今ほどに責任というものを感じてはいなかったように思います。当時は何事につけ切羽詰まった状況になかったようです。それまでのマネージャー個人を単位としたマネージャー協会の延長線上にあって、どこか親睦団体としての存在がまだ色濃く残っていた様でした。勿論、幾つかの委員会は活発に活動して相応の成果もあげていたの

も事実ですが、忍び寄る時代の波をいち早く察知することは出来ませんでした。三団体が了承したこととは云え、民放局の事実上のランク破壊に因るギャラダンピング。日本テレビの郵便爆弾に端を発して、気がついてみたら全局がマネージャーの売り込み拒否とも云える厳しい入館制限。他の権利団体に比して、情報に疎いが故にほとんど無知同様で他団体に大きく後れをとってしまった現実、等々…。この身に責任が重くのしかかります。



監事 岩瀬佐津夫

監事 中里長吉

# 「実演家を護るのは私達マネージャーです」

## <PRE通信 その1>

今回より「PRE活動レポート」を、マネ協理事でPRE代表幹事の守屋俊郎氏(青年座)より、毎号活動報告の記事として寄せて頂くことになりました。ご承知のように「PRE」は二次使用料等の分配団体として、今後マネ協と深く関っていく組織です。私達も活動に関心を持って見つめていく必要があります。(編集部)

### PRE映像実演権利者合同機構(略称プレ) 代表幹事 守屋 俊郎 (マネ協理事)

#### (はじめに)

PREは芸団協CPRA(著作隣接権センター)に協力のもと、俳優など映像に出演する実演家の権利をまもり、出演作品の適正な利用の実施を促し、公正な使用料等の分配実務を行うため、平成13年4月6日、以下の俳優関連15団体(後に1団体が加わって現在16団体)の賛同協力を得て設立された権利者団体です。

- ・(社)日本劇団協議会
- ・(社)日本俳優協会
- ・(社)日本喜劇人協会
- ・関西俳優協議会
- ・日本新劇俳優協会
- ・日本モデルエージェンシー協会
- ・人形浄瑠璃文楽座
- ・日本舞台監督協会
- ・(協)日本俳優連合
- ・(社)日本映画俳優協会
- ・(社)能楽協会
- ・日本人形劇人協会
- ・名古屋放送芸能家協議会
- ・日本児童・青少年演劇劇団協同組合
- ・日本演出者協会
- ・日本芸能マネージメント事業者協会

以上、日本の俳優関連団体のほとんどを網羅しての発足でしたが、同年10月に施行が予定されていた「著作権等管理事業法」を意識するあまり、委任の取り付けを急ぎ過ぎた観は否めず、既に権利者団体として分配業務を行っていた(社)日本音楽事業者協会、(社)音楽制作者連盟、演奏家団体MPN等の委任者と重複するといった重大な事態を招き、関係団体に多大の迷惑をお掛けする結果となりました。そのため故とは一概に申せませんが、昨年の9月から新たに私が代表幹事に選任され、また当機構において執行部とも云える常任幹事会のメンバーの一部入れ替えが行われたのは同誌で既報のとおりです。

委任者の権利者団体別の精査に手間取ったこともあって滞りがちであったPRE委任の実演家への分配も、関係各所の尽力により、現在ではCPRAからの分配金も順次支払われつつあって、将来的見込みもおぼろげながら漸く見えて参りました。向う1年乃至1年半の内には過去分のほとんどが分配処理されるであろうとの見通しを非公式ですがCPRAの担当者によって語られ、それが現実となれば、PREはより確かな将来像を描くことが出来ることになるでしょう。微力ながらもてる力を尽くしたいと思います。

#### (マネージャーも権利者?)

PREの発足前に、CPRAの協力団体として権利処理委託業務を日俳連が行っていたことから、PREは日俳連主導によって設立されました。前代表の池水通洋氏の権利処理に対する膨大な知識と俳優の仕事の多くを犠牲にしての尽力を無くして、PREの設立は無かったかもしれません。しかし、いくつかの理由によって代表幹事を退き、私が引き継ぐ事になりました。その立場に立って初めて実演家の権利処理の実務という事に直面したわけですが、恥ずかしいことに正直申し上げて、出演条件を取り

決めるべく最前線のマネージャーという立場でありながら、交わす契約書の根拠となる著作権法の著作隣接権や権利処理に対してほとんど無知に等しい自分に気付かされてしまいました。そんなこと知らずともマネージャーは出来ると言ってしまえば、確かに出来ます。30年もの間、私がそうでした。法律の知識は無くても契約書を丁寧に読み込めば当方にとって不利益をもたらす様な文言には気が付かずだし、また放送局が両者の信頼を損なう様な契約書を交わすはずもない、と。しかし結果的には同じ文言の契約書を取り交わすことになったとしても、「実演家の権利」ということに対して少しばかりの知識を得た今の私は、大いにそのプロセスは違ったものになると確信しています。また、それらを学んで少しでも実演家の有利に導くことは決して他人ごとではありません。実演家の権利として獲得したものは、代理人であるところの事務所やマネージャーにも口頭であれ慣習的であれ契約関係があれば、共に分け合う権利が生じると、芸団協のセミナー「実演家と代理人の関係」で講師の弁護士の法的解釈でも明らかなことです。代理人(マネージャー)が出演契約において二次使用を明らかにしておくことは、実演家のみならず自身の為でもあるのです。その意味では、何らかの理由で実演家が他社に移籍することになったとしても、出演時の事務所にその対価が支払われなければならないというルールを確立して浸透させなければならないでしょう。そうしなければ、代理人は支払いを受けられないかもしれない二次使用料など見向きもせず、時代に逆行してその時だけ良ければと買い取り契約を推し進めることになりましょう。ただし、PREでは、取り敢えず慣行を尊重し権利団体及び事務所の意向に添って対応するのが経過措置としてよろしかろうと現時点での判断をしています。近々にも原則的なルールを確立してお知らせ申し上げたいと思います。

#### (バックアップに感謝)

さて、各放送局や他の権利者団体等からも漸く認知されて、少しばかり先が見えてきたとは云え、確たる運営には今少しの時間が必要に思います。事務局体制の確立、部分使用の拡大、分配用データの収集、他団体との意見調整等々、解決すべき問題は山積していますが、マネ協理事会がPREの活動に対して全面的に協力が支援を約束してくれたことは心強い限りで、問題の解決を進めていく上で大きな励みとしています。また伝え聞くところによりますと、先日の日俳連理事選挙において立候補の公約でPREをバックアップしていくことを掲げて当選した理事がいるとの由。代表幹事として深く感謝申し上げるとともに、今後、実演家の権利処理に取り組んでいく覚悟を新たにしています。

実演家の権利を護りそれを実務的に対処することが出来るのは私達代理人であり実務者あるところのマネージャーだと思います。マネージャーにしか出来ない筈です。権利のみならずあらゆる面において実演家を護るべきことがマネージャーという存在だと、私は確信しています。

# [マネ協・会員事業者リスト：114社／h16年7月]

(株)アーツビジョン  
 (株)アイエス  
 (株)アムエンタープライズ  
 (株)青ニプロダクション  
 (株)アクセント  
 アクターズ・カンパニー  
 (株)アクターズセブン  
 (株)アクターズプロモーション  
 アスク・マネージメント  
 (株)アドヴァンスプロモーション  
 (有)アルファエージェンシー  
 (株)アングルベイビー  
 (有)あんどう  
 (有)イーアンドイー  
 (有)イイジマルーム  
 声の劇団イマージュ  
 (有)岩淵ぐるうぶ  
 (株)ウイットプロモーション  
 (有)ヴィーヴ  
 ウィナー(株)[ういなあエンタテインメント]  
 (有)エーエス企画  
 (有)ぶろだくしょんA組  
 (株)81プロデュース  
 (有)エスプレイング  
 (株)エヌ・エー・シー  
 (株)エ・ネスト  
 (株)エム・アール  
 M. M. P  
 (有)エムカンパニー  
 (有)えりオフィス  
 (株)円企画  
 (株)大沢事務所  
 (有)大平プロダクション  
 落合事務所  
 劇団権  
 (有)オフィス薫  
 (有)活動屋  
 (有)キリンプロ

(株)九プロダクション  
 銀プロダクション  
 (株)クオレ  
 クレイン・リバー[(株)アガ・イン]  
 (株)黒沢良事務所  
 (有)ケッケコーポレーション  
 (有)賢プロダクション  
 (有)元氣プロジェクト  
 (有)現代制作舎  
 (有)ケンユウオフィス  
 (株)コスモスペース  
 (株)さち子プロ  
 (有)サニープランニング  
 (株)三桂  
 (株)CSRコーポレーション  
 (株)オフィスCHK  
 (有)ジェイ・クリップ[リベルタ]  
 (株)シグマセブン  
 (株)仕事  
 (有)シス・カンパニー  
 (株)ジーンズ  
 (有)スターダス・21  
 劇団昂  
 青年座映画放送(株)  
 (株)ソーラーカンパニー  
 (有)宝井プロジェクト  
 (有)田上事務所  
 (有)竹内事務所  
 (有)プロダクション・タンク  
 (株)テアトル・エコー  
 TAG(東京アナウンス学院)  
 (有)TABプロダクション  
 D・R・A[(株)放送表現教育センター]  
 (株)オフィス・テン  
 (有)t o o d o  
 (株)東京乾電池オフィス  
 (有)東京芝居倶楽部  
 東京俳優生活協同組合

(株)同人舎プロダクション  
 (株)劇団東俳  
 (株)オフィス・トクヒロ  
 トム・プロジェクト(株)  
 (有)トリトリオフィス  
 (有)中里事務所  
 (有)劇団21世紀FOX  
 (有)劇団俳優座  
 (株)ぶろだくしょんバオバブ  
 オフィスP. A. C  
 プランニングメイ(有)  
 (株)古館プロジェクト  
 劇団文化座  
 (株)文学座  
 (株)放映新社  
 (株)宝映テレビプロダクション  
 (有)劇団朋友  
 (株)舞プロモーション  
 (株)マウスプロモーション  
 (有)オフィスまとば  
 (有)ミズキ事務所  
 (株)劇団民藝  
 (株)ムーブマン  
 (有)ムーンライト企画  
 (有)プロジェクト・メガリス  
 (有)メディアフォース  
 モアナ・ファクトリー  
 (株)矢島聡子事務所  
 (有)山田栖峯子事務所  
 (株)ゆーりんプロ  
 (株)ヨコザワ・プロダクション  
 (有)ライターズ・カバニー・田畑富久子事務所  
 (株)ラヴァンス  
 YAG(代々木アニメーション学院)  
 (株)若プロダクション  
 (株)劇団若草  
 (有)オフィス・ワット  
 (有)ワンダー・プロダクション

## 賛助会員一覧

(2004年7月現在)

<法人> (株)NHKエンタープライズ21  
 (株)オセロット  
 紀伊國屋ホール  
 (株)C. A. L  
 松 竹(株)

松竹京都映画(株)  
 (株)テレビ朝日  
 (株)テレビ東京  
 (株)東京演劇音響研究所  
 (株)東京放送

(株)日本劇団協議会  
 日本テレビ放送網(株)  
 (株)俳優座劇場  
 (株)フジテレビジョン

<個人> 戌井 市郎 鷗山 仁 岡本富士太 加藤 武  
 角野 卓造 北村 和夫 坂口 芳貞 平 淑恵  
 西川 信廣 渡辺 徹

### ■(賛助会員)加入のお願い

当、日本芸能マネージメント事業者協会では、法人・個人を問わず、当協会の事業を援助して下さる「賛助会員」を募集しております。

- 入会は、随時受付、年間を通していつでも入会申し込みを承ります。
- 会費は <法人> 1口 30,000円  
<個人> 1口 10,000円  
会員資格は入会から一年間です。
- 会員特典は機関誌「マネ協」等の贈呈、協会の各種イベントの参加入場等々です。

# [マネ協主催、第4回・三劇団研究所卒業生オーディション報告]

今年3月2日、第4回となる卒業生オーディションが恵比寿エコー劇場において開催されました。プロダクション14社、卒業生56名が参加し、そのうち13社が37名(延べ83名)を指名しました。後日、各社との面接により、最終的に14名の所属が決定しています。まだまだ試行錯誤の段階で改善すべき点も多いですが、マネ協の恒例行事として定着して欲しいと思います。



## JMA MOVEMENT REPORT

JAPAN MANAGERS ASSOCIATION

### <2004年2月>

- 24日 三者[マネ協・日俳連・音声連]実務小委員会(日俳連)
- 27日 PREセミナー「放送出演マネージメントの実際②」(PRE)

### <2004年3月>

- 2日 マネ協主催・三劇団研究所卒業生オーディション(恵比寿エコー劇場)
- // ムービーテレビジョン、マネ協・日俳連への説明会(日俳連)
- 4日 ムービーテレビジョン、債権者説明会
- 9日 常務会・第150回定例理事会(マネ協)
- 11日 マネ協・拡大実務小委員会(青二プロ)
- 14日 「ムービーテレビジョンについてのマネ協の方針説明会」(水道橋・貸会議室)
- 16日 PRE幹事会(PRE)
- // マネ協法人化の為の会議
- 30日 PREセミナー「放送出演マネージメントの実際③」(PRE)

### <2004年4月>

- 6日 決算監査(マネ協)
- 7日 常務会(マネ協)
- 8日 役員選挙開票(マネ協)
- 12日 PRE常任幹事会(PRE)
- 22日 常務会・第151回定例理事会(NHK青山荘)
- // 第14回定時総会・懇親会(NHK青山荘)
- 23日 三者・実務小委員会(日俳連)

### <2004年5月>

- 12日 第152回定例理事会(マネ協)
- 14日 労災連(芸能関連労災問題連絡会)会議
- // PREセミナー「放送出演マネージメントの実際④」(PRE)
- 20日 PRE常任幹事会(PRE)
- 26日 三者・外画動画分科会(音声連)
- 28日 PREセミナー「放送出演マネージメントの実際⑤」(PRE)

### <2004年6月>

- 2日 マネ協法人化の為の会議(マネ協)
- 7日 NHK・三団体[マネ協・劇団協・日俳連]会議(NHK)
- 8日 二団体[マネ協・日俳連]実務小委員会(日俳連)
- 9日 常務会・第153回定例理事会(マネ協)
- 24日 マネ協・集団健康診断(代々木病院・健診課)
- 25日 //
- // PREセミナー「放送出演マネージメントの実際⑥」(PRE)

## マネ協新加入事業者の紹介

### (有)劇団 朋友

〒180-0003  
東京都武蔵野市吉祥寺南町  
3-30-9  
TEL 0422-46-5461  
FAX 0422-46-5466



代表者 小嶋 敏彦  
会員代表 同左

### (有)メディアフォース

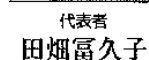
〒150-0036  
東京都渋谷区南平台町4-8  
南平台アジアマンション507  
TEL 5728-3703  
FAX 5728-3702



代表者 高橋 秀雄  
会員代表 関根奈美

### (有)ライタースカンパニー

田畑富久子事務所  
〒151-0063  
東京都渋谷区富ヶ谷1-51-10  
TEL 3465-1325  
FAX 3465-1325



代表者 田畑富久子  
会員代表 同左

### [退会事業者]

㈱コアミックス  
㈱ファンシーフリー  
㈱ロビンフッド・アーチスト

㈱サンオフィス  
㈱メイコーボレーション

## 編 集 後 記 VOL.18

今年はオリンピック・イヤーですが、今開催地のギリシャ・アテネはオリンピック発祥の地と言われていました。近年のオリンピックはやたら商業化され、本来のオリンピックの精神が失われつつある。そこでIOCは初心に返り、スポーツの原点に立ち帰ろうという主旨で発祥の地アテネを開催地を選んだのだと何かに書いてありました。私たちも初心に返り、「マネージメントサービス」とは何か?を考えて見る必要があるように思います。俳優の意向や気持ちを無視して、エゴイステックマネージメントに走っていないか?真剣に点検して見る事が必要な時期かもしれません。(編集子・M)

### \* 編集委員募集中です。

編集スタッフ連名 松田咲真 伊藤信(事務局)

● <http://www.manekyo.com>

● e-mail: manekyo@nifty.com